



ムジンバ県における 農民自立強化・生計向上プロジェクト



第8号 (2015年11月版)

リロングエへ訪問販売

昨年に引き続き、今年もリロングエで毎年行われている「International Woman's Association of Malawi (IWAM)」主催のバザーと時期を併せてリロングエで毎月行われている「Farmer's Market」へ参加し、ニンニクの販売実践を行いました。販売には農家のマーケット委員会メンバーで各ゾーン2名の計6名を代表として参加させ、昨年同様に直接販売における消費者ニーズを直に感じてもらう様にしました。販売に際しては、小分けのパッケージ化を実験的に行い、消費者のニーズ調査も行いました。結果的にマラウイでは小分けするよりも従来通りの販売の方が受入られる事が実証されましたが、

農家もトレードフェアやバザーへの参加を通じて、販売方法を色々と検討することに関して理解を示すようになっており、今後も農家と相談して販売方法に手を加えることでの販路拡大の可能性も検討する予定です。

リロングエの苺農家訪問

IWAMバザーへの参加に併せて、リロングエにある苺農家を訪問しました。リンビカーニグループのみで栽培していた苺ですが、ムジンバでも需要が高く、チカンガワ地域では製材工場近くのライプライ地区で販路があると思われるため、町に近いグループにおける新たな換金作物として期待しています。今回はリロングエ郊外で栽培している農家を訪問し、栽培に係る意見交換を行いました。リンビカーニグループで苺を積極的に栽培している農家が参加し、栽培法や水やりについて意見交換を行い、自分たちより広い栽培面積でも水やりにポンプを利用せずに人力で水を汲み上げている点は驚いていました。これからも他地域の農家を訪問して、栽培方法等に関して色々と情報を得る機会を作るように計画しています。



ニンニクの小分けを作る農家



小分けされたニンニクパッケージ



大きさに価格を分けての販売風景



マラウイ紹介

写真はマラウイの基本的な井戸です。左側は洗濯を行う場所で、真ん中あたり円柱の突起がありますが、何のためでしょう。水汲みに必要な構造物ですので、皆さん想像してみてください。



植林ワークショップ

プロジェクト対象のカゾンバ地域は伐採が進み、土地の保水能力が低下して土地の浸食が進んでいるため、農家から植林の希望がプロジェクトに対して行われました。マラウイの農業は化学肥料等を多用し、土や土地の事を考慮せずに生産のみを重視する農業が多いためにプロジェクトでは農産物生産に対して安全性とコスト軽減(肥料等の購入費)のため、堆肥の活用を重視してきましたが、農家から土地を保護するために植林に関する協力が出されたのには驚きました。継続して農業生産を行う上で植林は必要と判断してワークショップを実施することにしました。土地が痩せている上半乾燥気候ですので、日本で一般的な苗の植林では定着率が低い上に苗の購入経費が必要になるため、土地にあった植林方法を検討したところ、地域に根付いている灌木で植林に適した種類を活用した植林を実践している団体があったため、同団体を活用したワークショップと植林の実践を行いました。方法は灌木の枝を切り直接地面に刺す方法で、ワークショップ後には畑の浸食を防ぐために畑の周囲を囲うように植林を行う農家が多数現れました。植林の定着率は70%以上と想定していますが、今後も経過観察を行い、適正な植林に関して知識を農家が持つことで今後も植林が増えることを期待しています。



グループで原価計算を実施している様子



近所の商店での聞き取り調査風景



植林ワークショップ風景



植林の実践

ビジネス研修

1年次に実施した加工食品研修のフォローと販売に必要なマーケット調査、原価計算に関するフォローアップ研修を実施しました。既に食パンやスコーンの販売を継

続的に実施している農民グループでも、残念ながら原価および収益計算が出来ていない場合が多いため、フォローアップ研修を実施する事により、原価計算、販売価格設定および販路調査に関して理解を深め、ビジネスとして継続的に行われればと願っています。

研修の後は、研修を受けた農家が主体となって、村での発表会が行われ、我々プロジェクト関係者以外に「Ward Counselor」(地方議員)や各村長を招待し大々的に開催されました。特に招待客から式典への寄贈として席料を徴収する方法は初めての経験でしたが、主催者の負担を軽減するのに適した方法であり、良い考え方だと感じました。



研修終了書を持つての集合写真

マラウイ事務所 P.O.Box 173 MZIMBA,MALAWI
TEL : + 265-(0) 1-342-410
本部 〒102-0082
東京都千代田区一番町 23 番地 3
日本生命一番町ビル5階
TEL : + 81-(0) 36261-0261
URL : <http://www.joca.or.jp>